

内玄関は一般客と主人が使用した玄関である。

ガラス戸の内側に木製の雨戸があり、扉を締切であっても窓の連子と調和した意匠を楽しむことができる。

表玄関と内玄関に挟まれた連子窓の部屋は番頭の執務室で、「店」と呼ばれた。神棚が設けられ、神明様（天照大神）、大杉様（舟運）、穴守様（水害）、恵比寿大黒様（商売繁盛）が祀られている。

おうせつしつ しょさい  
応接室・書斎

みせ  
店

ないげんかん  
内玄関

客人を迎える玄関隣の応接室と隣接の書斎は、この屋敷内で唯一の洋間である。表玄関からも、応接室の窓のステンドグラスを見ることができる。窓と窓の間には大理石のマンテルピースを備えた暖炉があるが煙突は無い。電気式の暖房設備であった。外壁は尾州桧の板囲いで柱には四方柱目を用いている。